

平成 27 年度事業計画

活動の目的	弥生が丘地内のさまざまな地域課題の解決と地域資源の活用をめざして、三田市との協働のもと、昨年 11 月に弥生が丘の地域諸団体の参画により協議会を立ち上げ、多世代・地域間交流の場の拡充や地域情報活動の円滑化を図った。 本年度は、構成団体間の更なる連携の強化を図りつつ、地域住民と活動団体が一体となり、多世代・地域間交流事業を核とし、コミュニケーションを重視した活動を行い「安心・安全」で「住みよいまちづくり」を目的とする。
活動の内容	<u>I. 主催事業</u> 1) 協議会の組織づくりとして、定例役員会の開催、専門部会の設置並びに選任部長の配置及び事務局員の雇用。 2) 地域活動計画づくりとして、住民アンケート調査結果による活動計画の検討。 3) 健康増進・多世代事業として、ふれあいスポーツゲームの実施。 4) 地域の情報発信・青少年の健全育成事業として、まち協の周知にあわせた子ども見守り活動用着衣の作製。 <u>II. 共催事業</u> 1) 地域交流・多世代交流事業として、a)バス旅行及び b)市所有空き地の利用の検討。使用許可後は空き地の維持・管理を実施。 <u>III. 支援事業</u> 1) 青少年の健全育成事業として、夏休みのプール解放時におけるプール監視費用の PTA 負担の一部支援。 2) 地域交流・多世代交流事業として、カフェやよい の継続営業。
活動の工夫	◎ <u>I-1), 2) について</u> 定例役員会を適宜開催し、昨年度に実施した住民アンケート調査結果も考慮しながら専門部の設置を含めた組織づくり及び活動計画の策定を検討する。 ◎ <u>I-3) について</u> 多世代参加型のスポーツゲーム(囲碁ボールなど)の実施。 ◎ <u>I-4) について</u> まち協の周知にあわせた子ども見守り活動用着衣を作製し、まち協役員等に配布し、地域内外出時には着用して周知や防犯等の向上を図る。 ◎ <u>II-1) について</u> a) 地域の連合化に伴って途絶えていたバス旅行を実施する。実施に当たっては、地域内の各団体が行っている同事業を統合し、多世代交流の一環として行うことについてバス代の支援をする。 b) 有事の際の避難場所としての有効活用(防災倉庫の移設など)を図るとともに、日常は多世代で活用できる場づくりとしての整備を行う。 ◎ <u>III-1) について</u> 中山間地における児童の水泳力向上のため、夏休みのプール解放時において、事故を未然に防ぐために PTA の見守りの他、専門監視員費用の一部を支援する。 ◎ <u>III-2) について</u> 安定した運営の体力がつくまで会場使用料を支援し、運営方法などは聞き取りやアンケート等により充実を図る。